

『音訳ボランティア くさのみ』

～くさのみメンバーと西那須野地区のリスナーとの交流会～



▲今回初めての企画の朗読披露



▲リスナーさん大熱唱



▲自称『くさのみ美少女合唱団』



▲『久しぶり!』久々の再会

12月4日(水)に、音訳ボランティアとして西那須野地区で活動をしている『くさのみ』が、カシマウエディングリゾートで西那須野地区のリスナー(視覚障がい者)を招いて総勢26人が集まり交流会を行いました。

最初に参加者全員にマイクを回し自己紹介と近況報告を行いました。『病気で秋まで入院していたが、毎年楽しみにしているこの交流会に娘に付き添われ車いすで参加しました』『毎日彼女と幸せな生活を送っているよ』などいろいろな報告がありました。

2部は、リスナーさんのギター演奏が行われ3部は、今回初めての企画としてくさのみメンバーが2グループに分かれ『大きな木』と『あかちゃんになったおばあさん』を朗読しました。

4部は、みなさんお待ちかねのカラオケを行いました。リスナーさんの中には、歌詞が点字で表示される機械を操作しながらカラオケを楽しむ姿もありました。

最後は、毎年恒例の自称『くさのみ美少女合唱団』が登場し、リスナーさんの弾くギターに合わせ美声を披露し楽しかった交流会が終了しました。

歌っている時の笑顔、1年ぶりの再開に喜ぶ笑顔など、とても素晴らしい笑顔が見られた内容もりだくさんの交流会でした。



歌詞が点字で表示される機械



来年で結成40周年を迎える『くさのみ』は、西那須野地区で目の不自由な方たちのために、市広報や議会だより、社協だよりを「声の広報」として届ける活動や福祉体験学習として小学校等でアイマスク体験などを行い目の不自由な方の理解を深めてもらう活動などを行っています。